

## 第6章

### 実現に向けた推進体制

# 1. 推進体制

本ビジョンを推進していくにあたっては、森林づくり協議会による施策展開の検討に併せて、丹波市森林林業振興協議会において進捗状況を検証していきます。

また、森林・林業関係者や森林に関わる市民の声をより積極的に集め、連携強化と参画の輪を広げていくために、関連事業者や市民を巻き込み、協働と連携により森林づくりを推進していきます。なお、これまで以上に加古川・由良川流域の地域を意識した連携強化により関係人口を増やし、ビジョンの実現性を高めます。

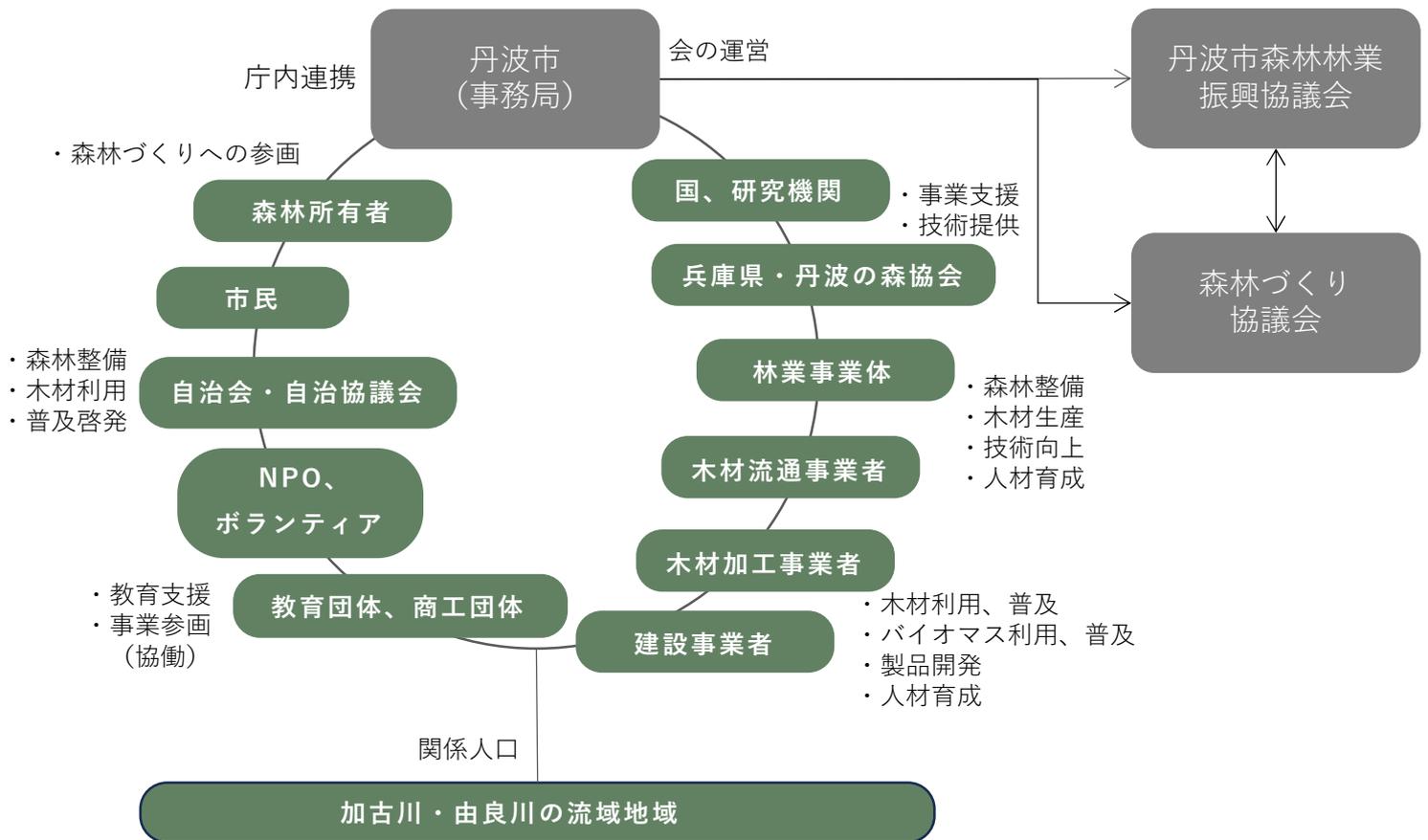


図19：推進体制イメージ

## 2. 各者の役割

<b>市民</b>	市民の一人ひとりが森林に関心を持ち、森林の機能や役割について理解し、木育や森林レクリエーションなどを通して、森林を好きになり、森林との関わりを持ちます。また、地域材の利用を通して健全な森林づくりに寄与します。
<b>丹波市</b>	本ビジョンに示す基本施策の推進と実施体制の整備、運営体制の支援を行います。また、国や県などに必要な理解や協力を求め、施策の推進に取り組めます。
<b>森林所有者</b>	所有する森林が公益的な機能を発揮することを理解し、森林管理に取り組みます。また、所有山林の適切な管理を自ら（又は委託）行うことで、地域の環境保全を推進し、所有森林の安全性と付加価値を高めます。
<b>自治会・ 自治協議会</b>	地域住民が森林に親しみ、共助しながら、安全・安心な暮らしを築くための地域の森林整備を、市や事業者のサポートを受けながら進めます。
<b>森林組合・ 林業事業体</b>	将来の目標とする森林の姿を描き、行政と森林に関するデータを共有しながら、森林の境界の明確化、森林施業の提案、団地化や長期施業委託などを通して適切な森林整備を実施します。また、林業従事者の安全と雇用を守ります。
<b>木材加工業・ 建築業</b>	地域材の地域内流通を進め、地域内経済の循環を高めます。
<b>林産業以外の団体・ 企業</b>	社会貢献や地域貢献のために、森林資源の利活用を図るとともに、地域の関係者と共に、森林づくりへの参加や支援に取り組めます。
<b>関係人口 (市民以外の繋がり)</b>	丹波市に想いがあり、本ビジョンに共感し、地域の方々との交流を通して自分に合った森林づくりに参画するといった、地域の往来や観光・消費だけではない新たな関わり方を生み出します。また、この関わりから、移住定住や二拠点生活に繋がっていくことを期待します。



# 第7章

## 資料

# 1. 森林づくりビジョン検討委員会

## (1) 会議開催の経緯

年月日	内容
令和5年6月23日	第1回森林づくりビジョン検討委員会 (改定の概要、アンケート、ヒアリングについて)
令和5年8月22日	第2回森林づくりビジョン検討委員会 (アンケート結果、ビジョン素案作成について)
令和5年10月30日	第3回森林づくりビジョン検討委員会 (ビジョン素案骨子について)
令和6年1月24日	第4回森林づくりビジョン検討委員会 (ビジョン素案について)
令和6年8月20日	第5回森林づくりビジョン検討委員会 (ビジョン最終案について)

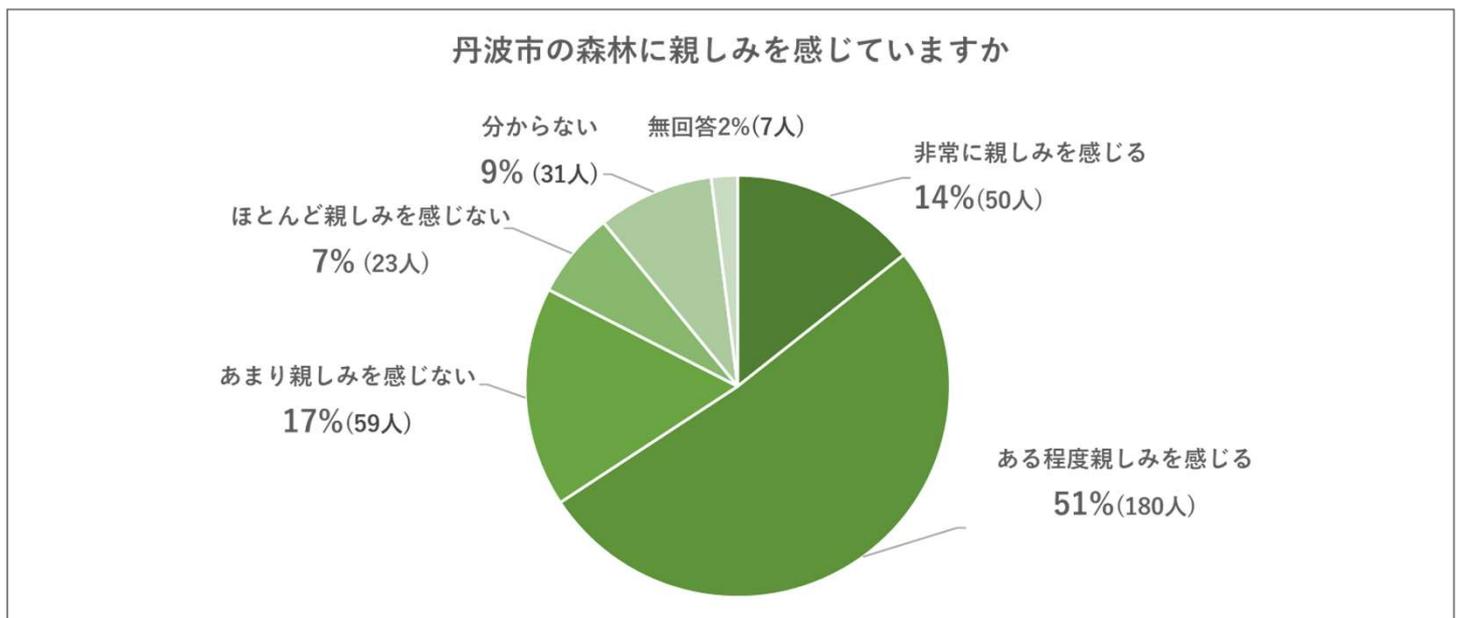
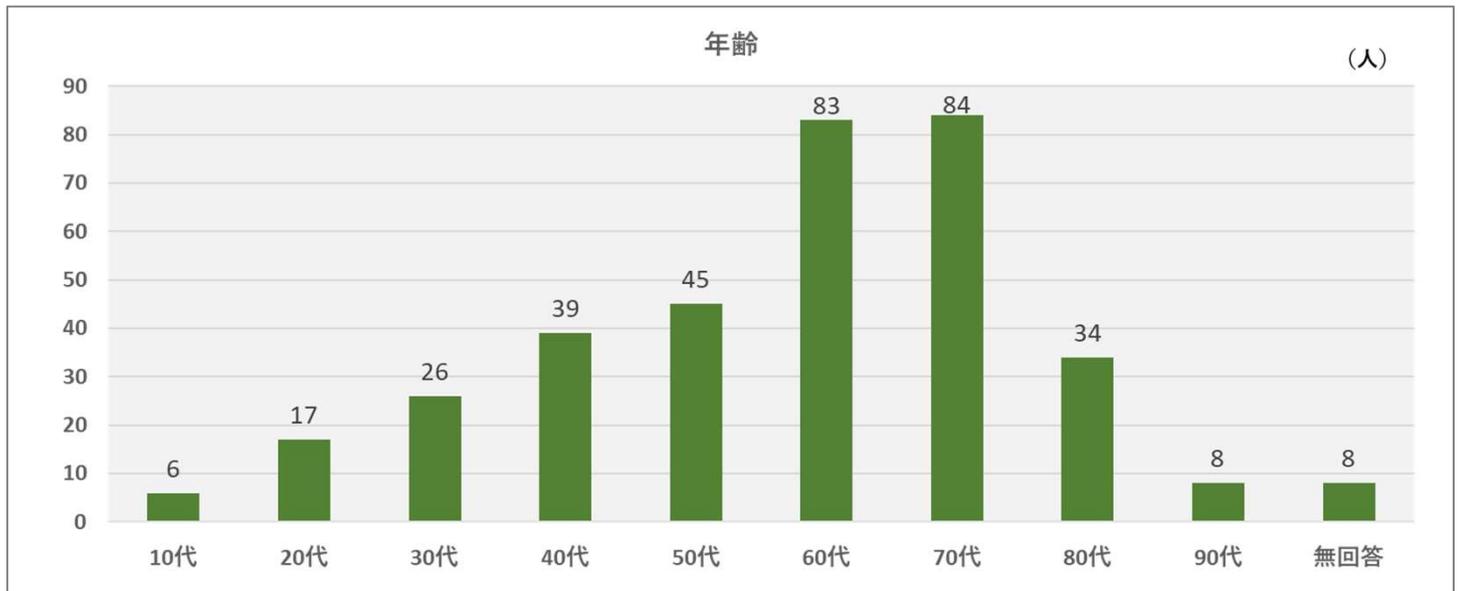
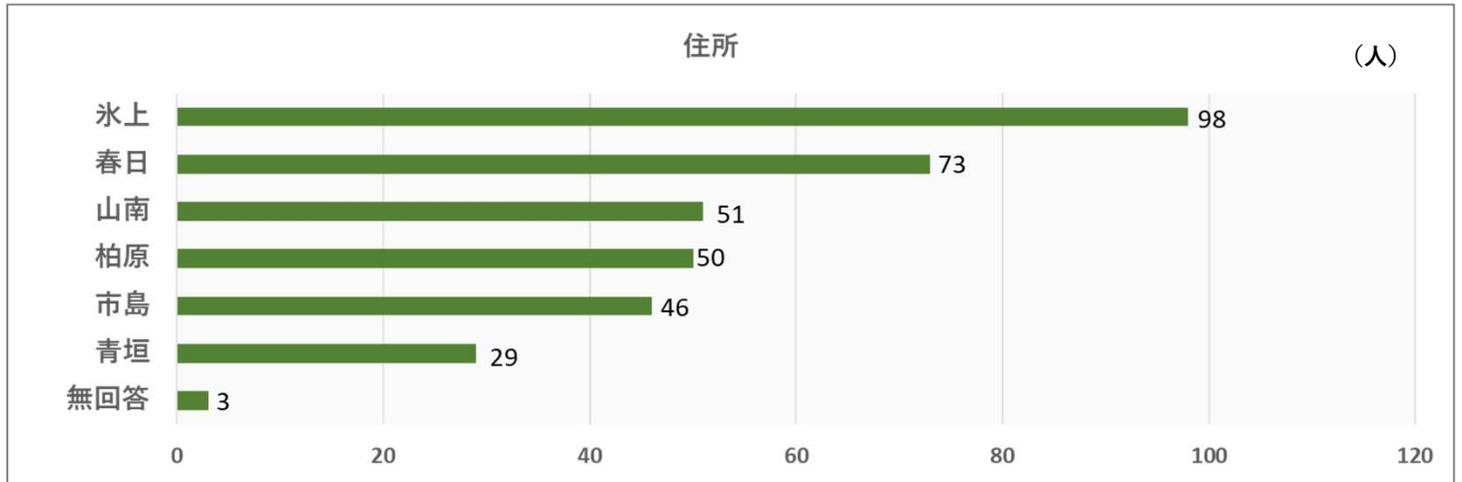
## (2) 委員会名簿

氏名	所属
門上 保雄	公益財団法人兵庫丹波の森協会 研究員
土田 寿一	丹波市森林組合 参事
野口 喜弘	丹波ひかみ森林組合 参事
谷垣 陽一	丹波市製材協会 会長
足立 龍男	ひょうご木の匠の会 会員 / 株式会社栄建 代表取締役
西脇 誠	丹波林産振興センター 理事長
能口 秀一	丹波市木材林産協同組合 理事長
伊藤 忠嘉	平松区森林愛好会 代表
細見 勝	林業普及推進員
上田 敦祐	兵庫県丹波県民局 丹波農林振興事務所森林課 課長

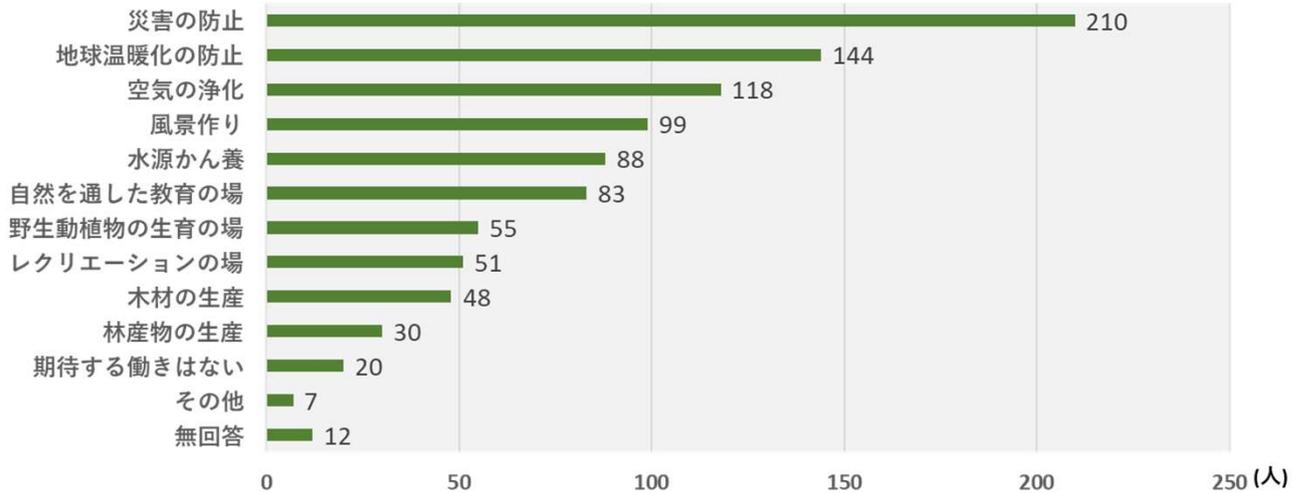
策定支援受託業者	株式会社古川ちいきの総合研究所
----------	-----------------

## 2. アンケート調査結果

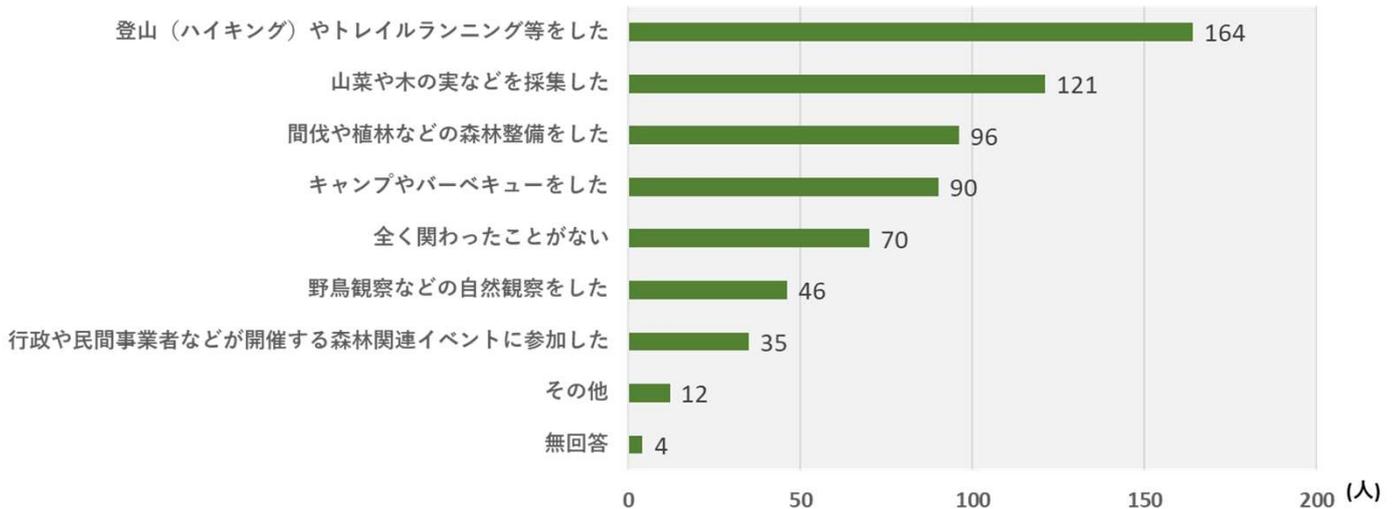
### (1) 一般市民向けアンケート調査結果



## 丹波市の森林に期待する働きは何ですか（上位3つまで○をつける）

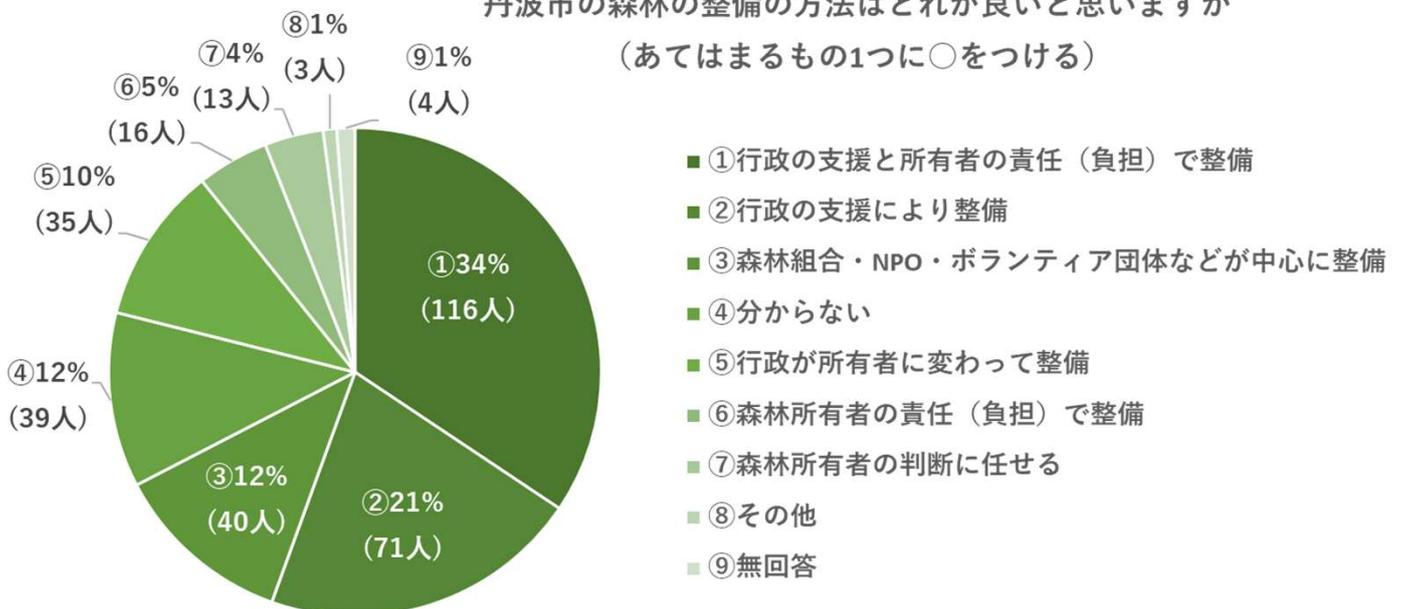


## あなたはこれまで、丹波市の森林にどのように関わったことがありますか （当てはまるものすべてに○をつける）



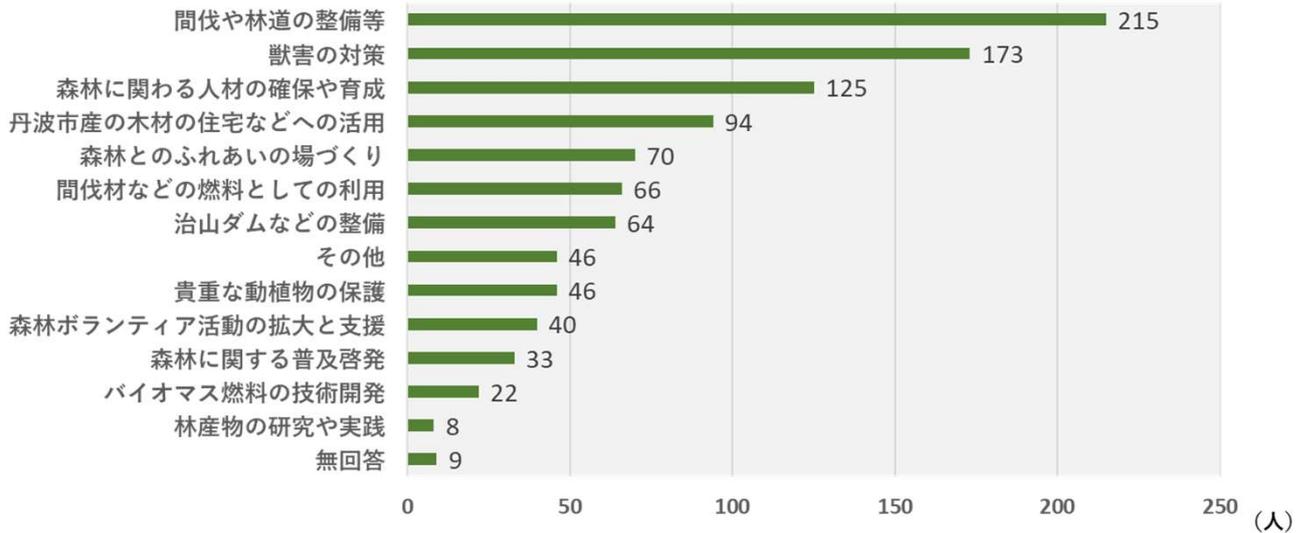
## 丹波市の森林の整備の方法はどれが良いと思いますか

（あてはまるもの1つに○をつける）



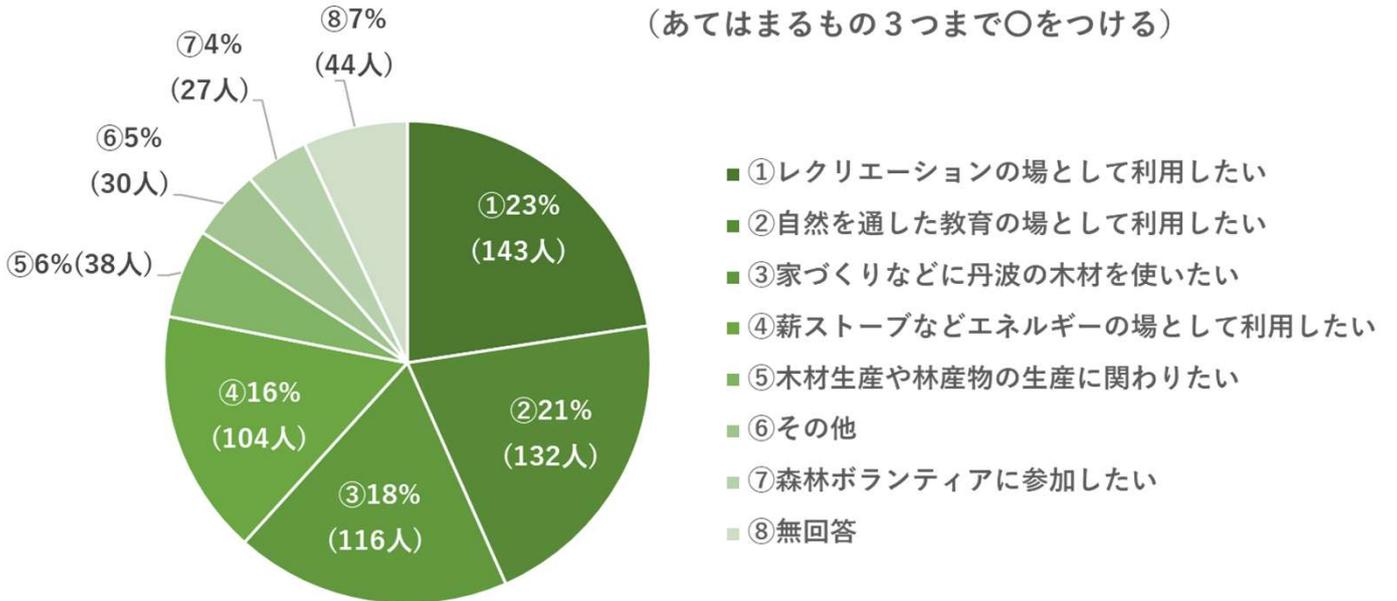
丹波市の森林の整備や活用に必要なことは何だと思えますか

(上位3つまで○をつける)



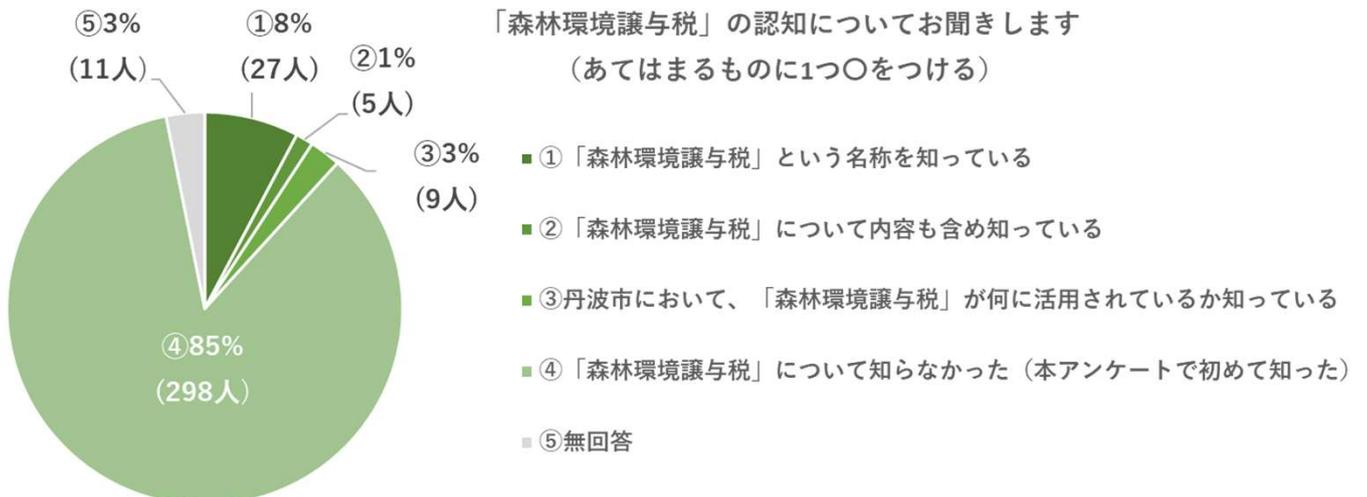
あなたは、今後、丹波市の森林にどのように関わりたいですか

(あてはまるもの3つまで○をつける)

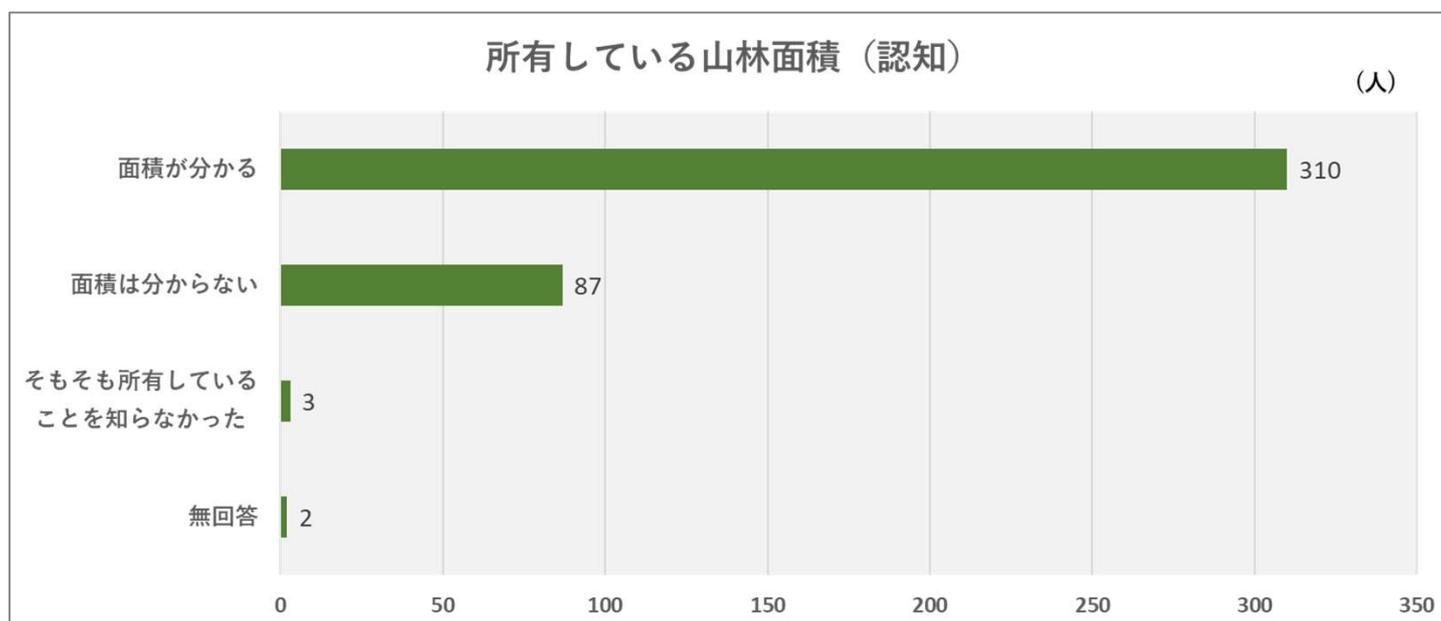
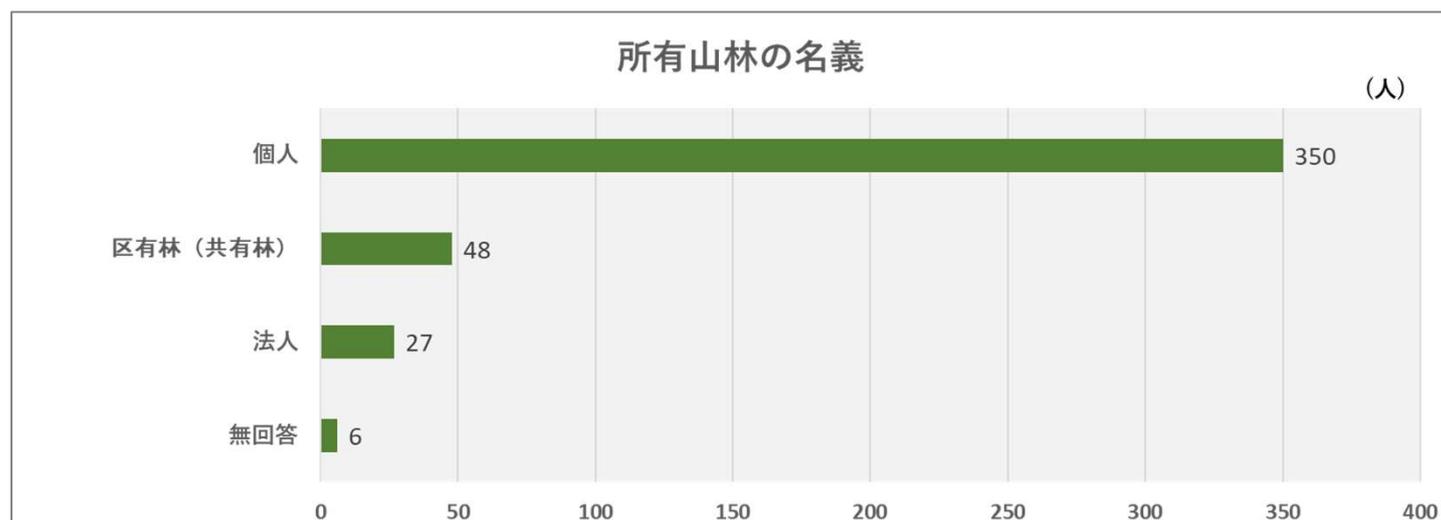
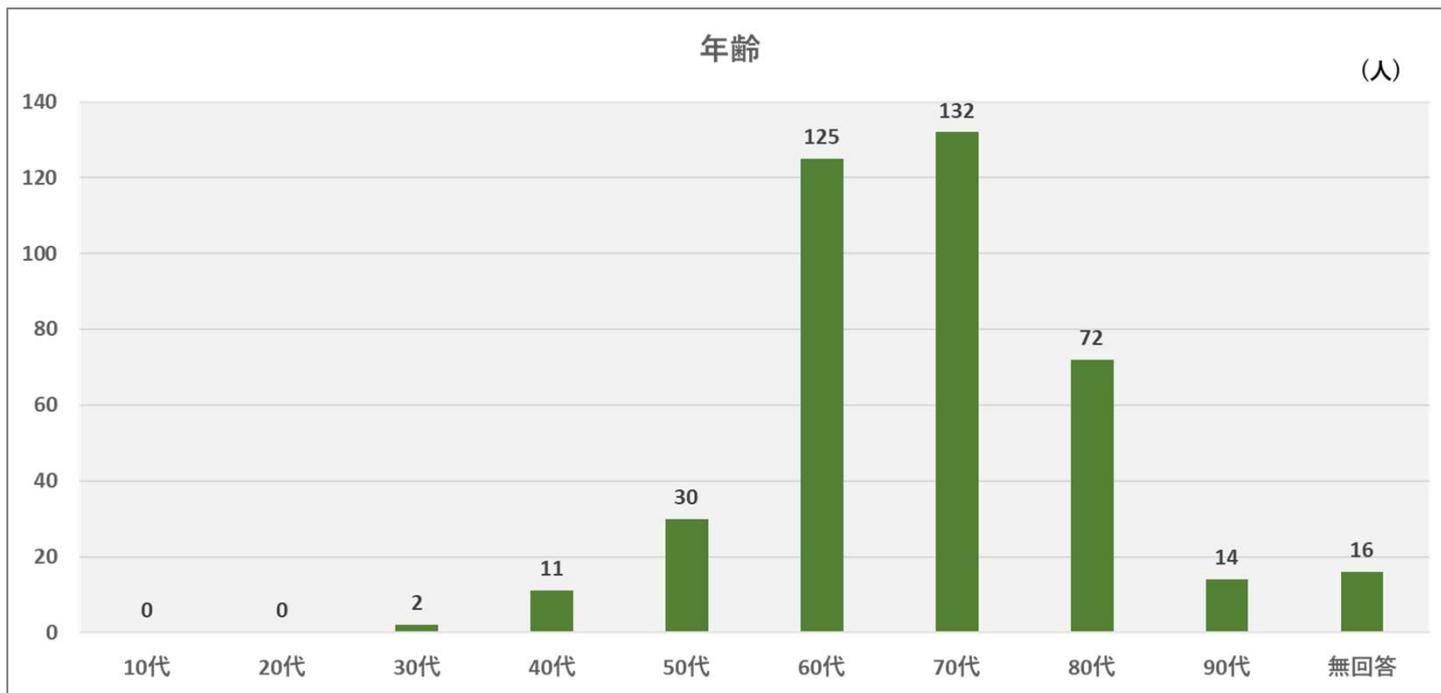


「森林環境譲与税」の認知についてお聞きます

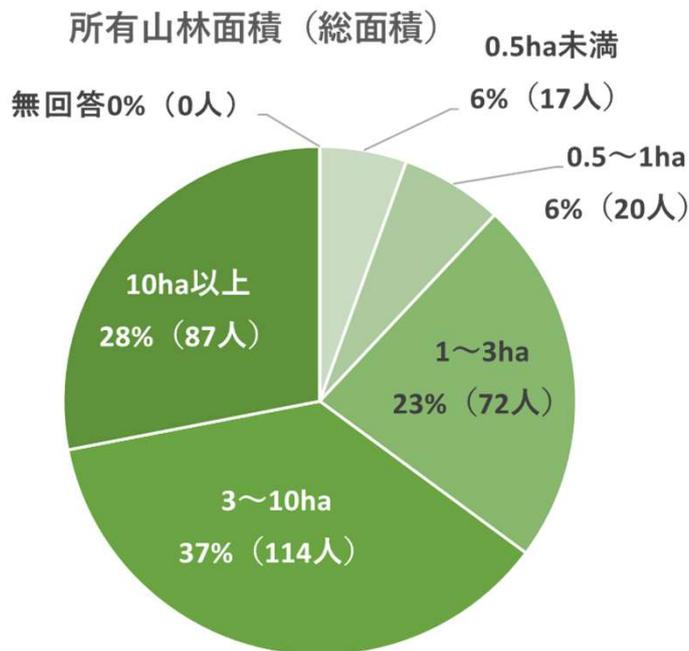
(あてはまるものに1つ○をつける)



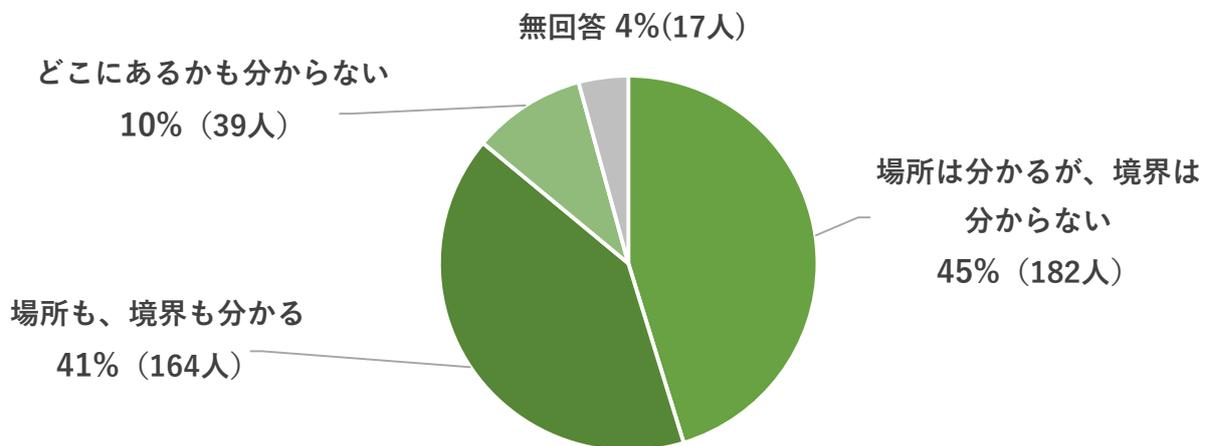
## (2) 森林所有者向けアンケート調査結果



### 所有山林面積（総面積）



### 所有山林の場所の認知



### 森林の管理状況

#### 計画

	全部	一部	合計
自分でしている	40	24	64
委託している	19	17	36
何もしていない	266	18	284

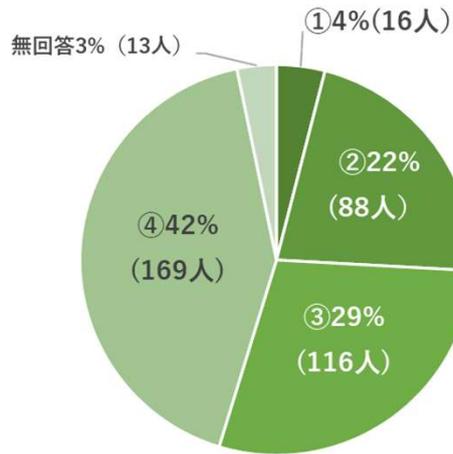
#### 保育

	全部	一部	合計
自分でしている	30	44	74
委託している	17	31	48
何もしていない	241	8	249

#### 収穫

	全部	一部	合計
自分でしている	20	13	33
委託している	18	23	41
何もしていない	281	14	295

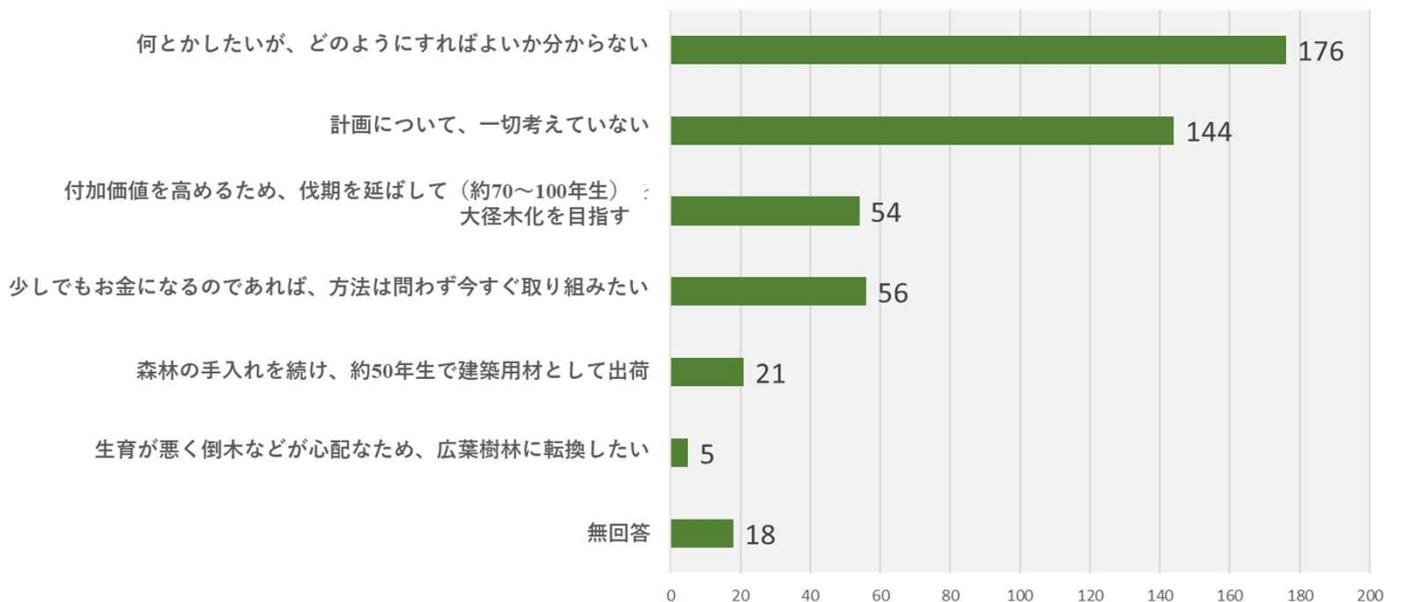
## 山林の収入期待度



- ①期待しており、安定的な収入源になると考えている
- ②期待しているが、不安定で一時的な収入源で持続性はないと考えている
- ③期待していないが、山林の所有自体は負担に思わない
- ④期待しておらず、山林の所有は費用だけかかり負担になると考えている
- 無回答

## 将来の山林経営の計画（スギ・ヒノキ等の人工林）

(人)

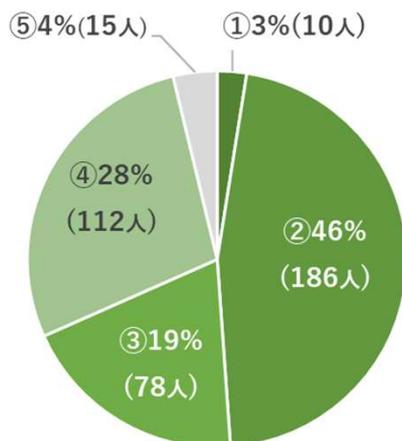


## 将来の山林活用の計画（広葉樹林）

(人)

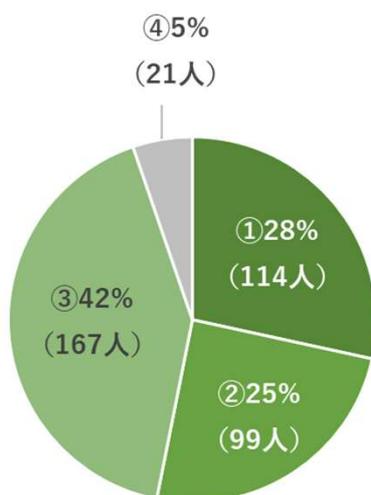


## 今後の所有について



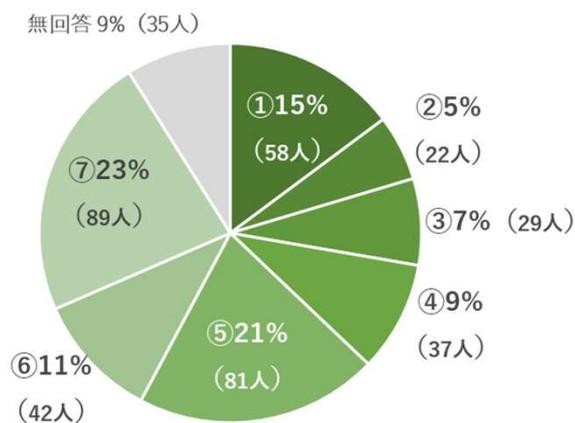
- ①さらに山林を増やしたい
- ②増やしたくも減らしたくもない
- ③手放したい山林がある
- ④すべてを手放したい
- ⑤無回答

## 今後の相続について



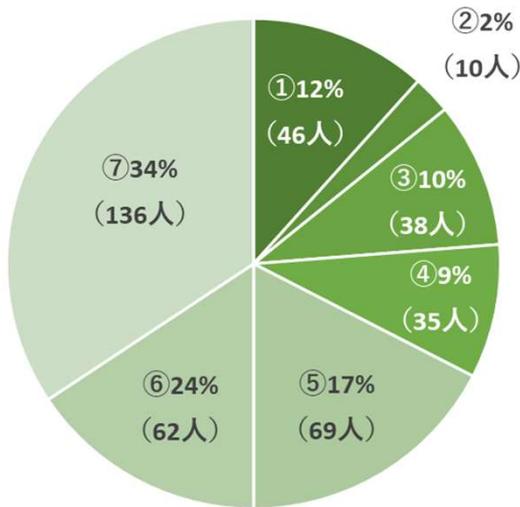
- ①相続者を決めている
- ②相続者をある程度決めているが、最終決定はしていない
- ③相続者を決めていない
- ④無回答

## 10年後の所有山林の状況



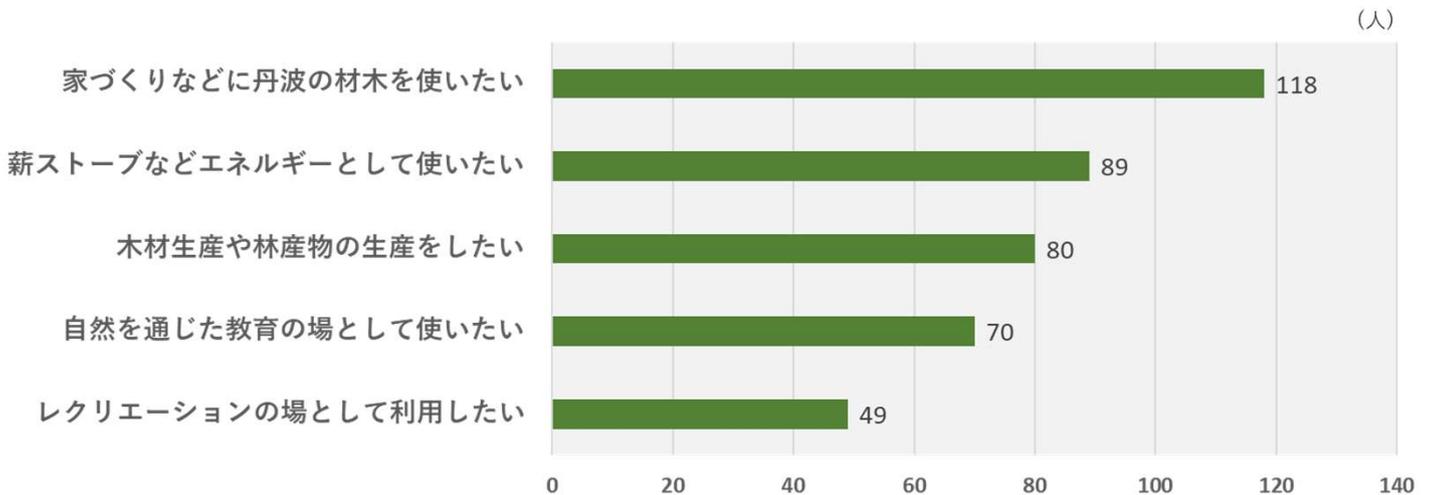
- ①自分で所有し、管理もできていると思う
- ②現在、委託している人（組織）に管理を任せ続けたい
- ③新たな委託先（信頼できる事業者）に管理を任せたい
- ④丹波市（行政）に管理をすべて任せたい
- ⑤森林組合に管理をすべて任せたい
- ⑥所有を手放したい（無償譲渡でも良い）
- ⑦所有を手放したい（売りたい）
- 無回答

## 空き家、農地も併せて有する方の意向

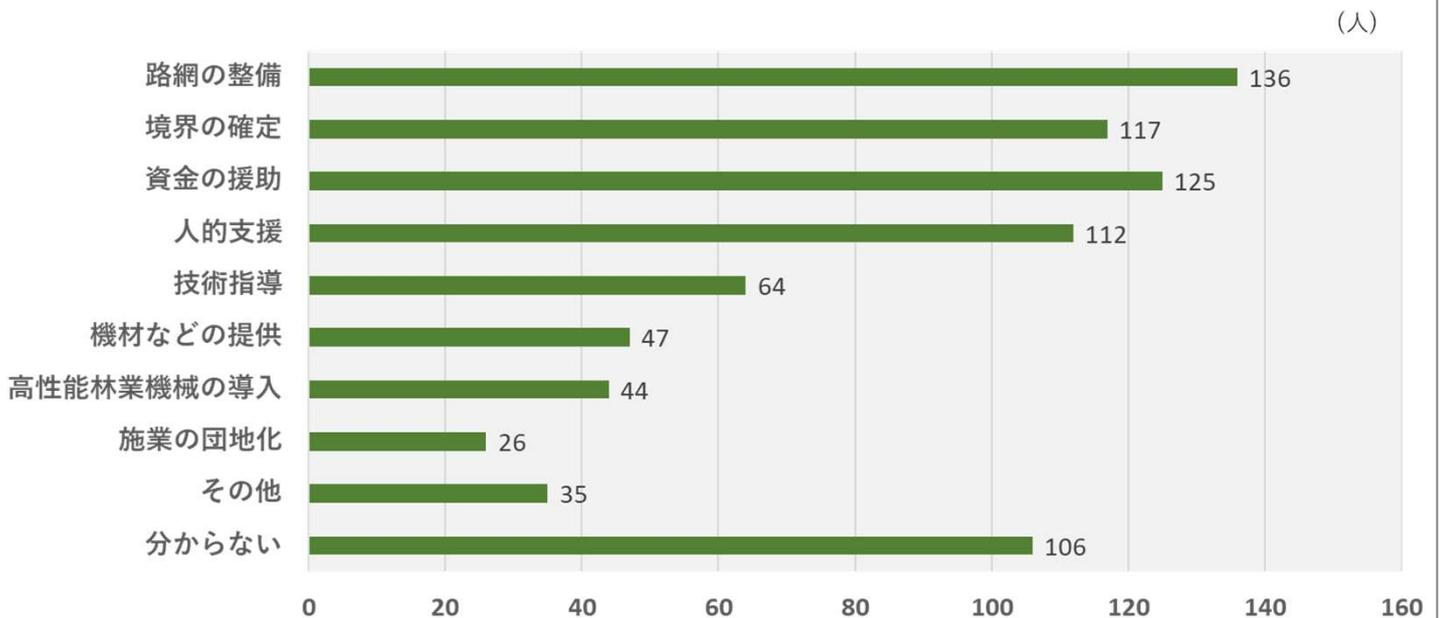


- ①空き家、農地のどちらも有効に活かしたい
- ②空き家だけは有効に活かしたい
- ③農地だけは有効に活かしたい
- ④空き家も農地も手放したい
- ⑤当面、活用する予定はないが保有しておきたい
- ⑥手放すか活用するか、どちらにするか考えることすらできないので、一括して相談できる窓口がほしい
- ⑦無回答

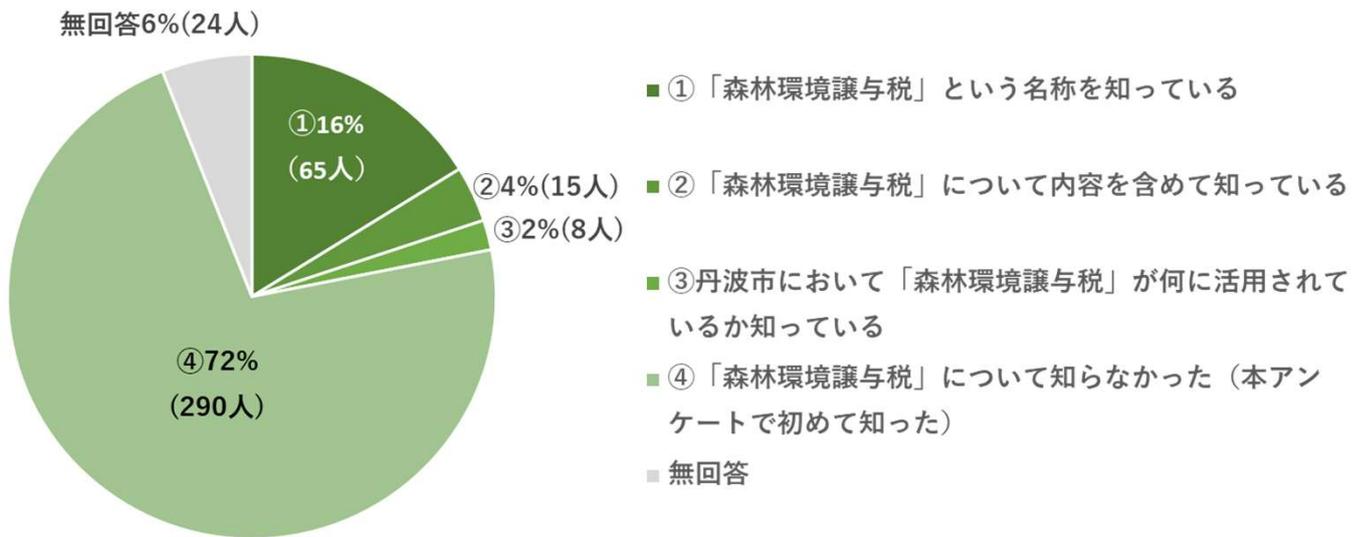
## 丹波の森林への関わり方



## 森林の管理、活用のために望む支援



## 森林環境譲与税の認知度



### 3. 関連用語の解説

本文注釈付き用語	解説																
※1 森林の有する多面的機能 [2ページ]	<p>森林による国民生活の安定向上と国民経済の健全な発展に寄与する様々な働きのことをいいます。主に8つの機能に分かれます。</p> <table border="1" data-bbox="464 387 1461 1928"> <tr> <td data-bbox="464 387 879 645">土砂災害防止機能／ 土壌保全機能</td> <td data-bbox="879 387 1461 645">樹木の根が土砂や岩石等を固定することで、土砂の崩壊を防ぎ、また、森林の表土が下草、低木等の植生や落葉落枝により覆われることで、雨水による土壌の侵食や流出を防ぎます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 645 879 853">水源涵（かん）養機能</td> <td data-bbox="879 645 1461 853">森林の土壌はスポンジのように雨水を吸収して一時的に蓄え、徐々に河川へ送り出すことにより洪水を緩和するとともに、水質を浄化します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 853 879 1003">地球環境保全機能</td> <td data-bbox="879 853 1461 1003">森林の樹木は、大気中の二酸化炭素を吸収し、炭素を貯蔵することにより、地球温暖化防止に貢献しています。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1003 879 1104">生物多様性保全機能</td> <td data-bbox="879 1003 1461 1104">希少種を含む多様な生物の生育・生息の場を提供します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1104 879 1361">快適環境形成機能</td> <td data-bbox="879 1104 1461 1361">大気の浄化や気温上昇の緩和など、森林が大気やエネルギーの循環にかかわる地域環境の構成要素として機能することにより発揮されるものですが、都市での騒音防止や居住環境の快適性も含まれます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1361 879 1675">保健・レクリエーション機能</td> <td data-bbox="879 1361 1461 1675">森林空間の物理的特性や森林の視覚的特徴、森林の化学性により人々の肉体的、精神的向上に寄与します。また、日本人が昔から森と接してきた民族からなることも関係し、精神的向上に効果があるともされています。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1675 879 1883">文化機能</td> <td data-bbox="879 1675 1461 1883">史跡や名勝等と一体となって文化的価値のある景観や歴史的風致を構成したり、文化財等に必要な用材等を供給したりします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1883 879 1928">物質生産機能</td> <td data-bbox="879 1883 1461 1928">木材やきのこ等の林産物を産出します。</td> </tr> </table> <p>また、平成13年に日本学術会議より答申された「地球環境・人間生活に関わる農業及び森林の多面的な機能の評価について」では日本の森林の有する多面的機能を貨幣評価しており、それによると総額約70兆円、1haあたり280万円に値するという試算になっています。</p>	土砂災害防止機能／ 土壌保全機能	樹木の根が土砂や岩石等を固定することで、土砂の崩壊を防ぎ、また、森林の表土が下草、低木等の植生や落葉落枝により覆われることで、雨水による土壌の侵食や流出を防ぎます。	水源涵（かん）養機能	森林の土壌はスポンジのように雨水を吸収して一時的に蓄え、徐々に河川へ送り出すことにより洪水を緩和するとともに、水質を浄化します。	地球環境保全機能	森林の樹木は、大気中の二酸化炭素を吸収し、炭素を貯蔵することにより、地球温暖化防止に貢献しています。	生物多様性保全機能	希少種を含む多様な生物の生育・生息の場を提供します。	快適環境形成機能	大気の浄化や気温上昇の緩和など、森林が大気やエネルギーの循環にかかわる地域環境の構成要素として機能することにより発揮されるものですが、都市での騒音防止や居住環境の快適性も含まれます。	保健・レクリエーション機能	森林空間の物理的特性や森林の視覚的特徴、森林の化学性により人々の肉体的、精神的向上に寄与します。また、日本人が昔から森と接してきた民族からなることも関係し、精神的向上に効果があるともされています。	文化機能	史跡や名勝等と一体となって文化的価値のある景観や歴史的風致を構成したり、文化財等に必要な用材等を供給したりします。	物質生産機能	木材やきのこ等の林産物を産出します。
土砂災害防止機能／ 土壌保全機能	樹木の根が土砂や岩石等を固定することで、土砂の崩壊を防ぎ、また、森林の表土が下草、低木等の植生や落葉落枝により覆われることで、雨水による土壌の侵食や流出を防ぎます。																
水源涵（かん）養機能	森林の土壌はスポンジのように雨水を吸収して一時的に蓄え、徐々に河川へ送り出すことにより洪水を緩和するとともに、水質を浄化します。																
地球環境保全機能	森林の樹木は、大気中の二酸化炭素を吸収し、炭素を貯蔵することにより、地球温暖化防止に貢献しています。																
生物多様性保全機能	希少種を含む多様な生物の生育・生息の場を提供します。																
快適環境形成機能	大気の浄化や気温上昇の緩和など、森林が大気やエネルギーの循環にかかわる地域環境の構成要素として機能することにより発揮されるものですが、都市での騒音防止や居住環境の快適性も含まれます。																
保健・レクリエーション機能	森林空間の物理的特性や森林の視覚的特徴、森林の化学性により人々の肉体的、精神的向上に寄与します。また、日本人が昔から森と接してきた民族からなることも関係し、精神的向上に効果があるともされています。																
文化機能	史跡や名勝等と一体となって文化的価値のある景観や歴史的風致を構成したり、文化財等に必要な用材等を供給したりします。																
物質生産機能	木材やきのこ等の林産物を産出します。																

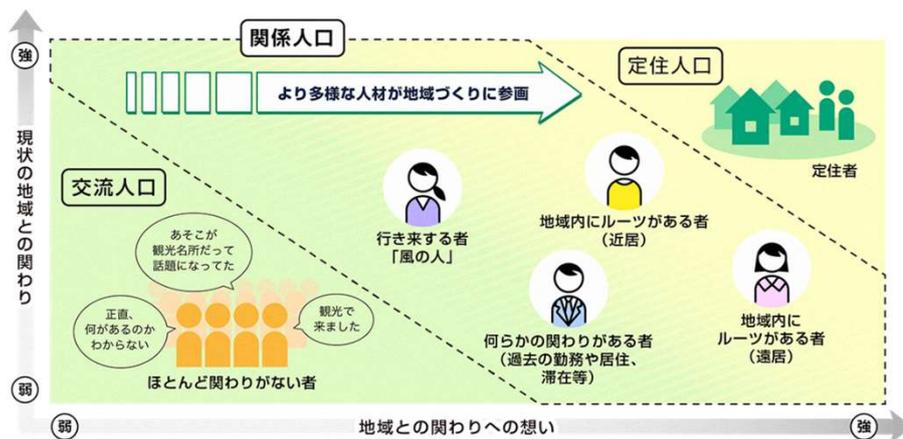
本文注釈付き用語	解説															
※2 市町村森林整備計画 [3 ページ]	<p>県が定める地域森林計画対象民有林が存在する市町村が5年ごとに作成する10年を一期とする計画であり、地域の森林・林業の特徴を踏まえた森林整備の基本的な考え方や森林所有者等が行う伐採や造林などの森林施業に関する規範等が定められている計画です。</p>															
※3 国有林・民有林 [4 ページ]	<p>森林の所有区分は大きく分けて2つ、「国有林」と「民有林」に分かれます。「国有林」は林野庁をはじめとする国の機関が所有する森林、「民有林」は①個人、会社・寺社など法人で所有する私有林、②都道府県・市町村・財産区で所有する公有林の2種類に分類されます。</p> <div data-bbox="662 750 1292 1120" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="478 1160 1423 1608" data-label="Figure"> <p>森林の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>森林の種類</th> <th>面積 (万ha)</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国有林</td> <td>767</td> <td>30.6%</td> </tr> <tr> <td>公有林</td> <td>292</td> <td>11.7%</td> </tr> <tr> <td>私有林</td> <td>1,444</td> <td>57.7%</td> </tr> <tr> <td><b>合計</b></td> <td><b>2,503</b></td> <td><b>100%</b></td> </tr> </tbody> </table> </div>	森林の種類	面積 (万ha)	割合 (%)	国有林	767	30.6%	公有林	292	11.7%	私有林	1,444	57.7%	<b>合計</b>	<b>2,503</b>	<b>100%</b>
森林の種類	面積 (万ha)	割合 (%)														
国有林	767	30.6%														
公有林	292	11.7%														
私有林	1,444	57.7%														
<b>合計</b>	<b>2,503</b>	<b>100%</b>														
※4 林業事業体・ 林業従事者 [8 ページ]	<p>「林業事業体」は、森林施業を行う事業者のうち、森林組合と民間事業者を示します。「林業従事者」は主に、林業に就業して森林内の現場作業などに従事する者を示します。</p> <p>森林組合は、森林所有者の経済的社会的地位の向上並びに森林の保続培養及び森林生産力の増進を図ることを目的として森林組合法に基づき設立された森林所有者の協同組合です。森林経営に関する指導、森林の施業または経営の受託、森林経営の信託の引受け、森林の保護に関する事業などを行います。</p>															

本文注釈付き用語	解説														
※5 人工林・天然林 (天然生林) [16ページ]	<p>「人工林」は、人為を加えて人工造林（植林など）や天然更新で成立した森林を言います。「天然林」は自然の力で育ち、人の手が入っていない（原生林）か、長い間にわたって人の手が入った痕跡の無い森林を言います。天然林に似ているものでは、「天然生林」という、ぼう芽更新、天然下種更新など天然力を活用して、人が更新補助作業や除伐、間伐などの保育作業を行うなど、積極的に人手を加えることによって造成された森林を示す言葉もあります。</p>														
※6 林齢・齢級 [21ページ]	<p>「林齢」は森林の年齢を示します。例えば、人工林では、苗木を植栽した年を1年生とし、以後、2年生、3年生と数えます。「齢級」は林齢を5年単位で区分したものです。1齢級は1～5年生、2齢級は6～10年生となります。</p> <p>似ている言葉に「樹齢」がありますが、これは種が芽を出した時から数える年となります。ちなみに、植栽する苗木は樹種などにもよりますが、およそ樹齢3～6年とされています。</p>														
※7 高性能林業機械 [21ページ]	<p>「高性能林業機械」は、従来のチェーンソーや刈払機などの機械に比べて、作業の効率化、身体への負担の軽減など、性能が著しく高い林業機械の総称です。フェラーバンチャ、ハーベスタ、プロセッサ、スキッダ、フォワーダ、タワーヤダ、スイングヤダなどがあります。</p> <table border="1" data-bbox="448 1339 1469 2107"> <tbody> <tr> <td data-bbox="448 1339 671 1480">フェラーバンチャ</td> <td data-bbox="679 1339 1469 1480">立木を伐採（フェリング）し、切った木をそのまま掴んで集材に便利な場所へ集積（バンチング）する自走式機械。チェーンソーに代わり、最も危険な伐倒作業を担う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 1491 671 1581">ハーベスタ</td> <td data-bbox="679 1491 1469 1581">従来チェーンソーで行っていた立木の伐倒、枝払い、玉切りの各作業と玉切りした材の集積作業を一貫して行う自走式機械。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 1592 671 1682">プロセッサ</td> <td data-bbox="679 1592 1469 1682">林道や土場などで、全木集材されてきた材の枝払い、測尺、玉切りを連続して行う自走式機械。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 1693 671 1783">スキッダ</td> <td data-bbox="679 1693 1469 1783">丸太の一端を吊り上げて土場まで地引集材する集材専用の自走式機械。主として伐開された林地内で使用される。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 1794 671 1883">フォワーダ</td> <td data-bbox="679 1794 1469 1883">玉切りした短幹材をグラップルクレーンで荷台に積んで運ぶ集材専用の自走式機械。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 1895 671 1984">タワーヤダ</td> <td data-bbox="679 1895 1469 1984">簡便に架線集材できる人工支柱を装備した移動可能な集材機。急傾斜地での作業に向いている。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 1995 671 2107">スイングヤダ</td> <td data-bbox="679 1995 1469 2107">主索を用いない簡易索張方式に対応し、かつ、作業中に旋回可能なブームを装備する集材機。建設用ベースマシンに集材用ウィンチを搭載し、アームをタワーとして使用する。</td> </tr> </tbody> </table>	フェラーバンチャ	立木を伐採（フェリング）し、切った木をそのまま掴んで集材に便利な場所へ集積（バンチング）する自走式機械。チェーンソーに代わり、最も危険な伐倒作業を担う。	ハーベスタ	従来チェーンソーで行っていた立木の伐倒、枝払い、玉切りの各作業と玉切りした材の集積作業を一貫して行う自走式機械。	プロセッサ	林道や土場などで、全木集材されてきた材の枝払い、測尺、玉切りを連続して行う自走式機械。	スキッダ	丸太の一端を吊り上げて土場まで地引集材する集材専用の自走式機械。主として伐開された林地内で使用される。	フォワーダ	玉切りした短幹材をグラップルクレーンで荷台に積んで運ぶ集材専用の自走式機械。	タワーヤダ	簡便に架線集材できる人工支柱を装備した移動可能な集材機。急傾斜地での作業に向いている。	スイングヤダ	主索を用いない簡易索張方式に対応し、かつ、作業中に旋回可能なブームを装備する集材機。建設用ベースマシンに集材用ウィンチを搭載し、アームをタワーとして使用する。
フェラーバンチャ	立木を伐採（フェリング）し、切った木をそのまま掴んで集材に便利な場所へ集積（バンチング）する自走式機械。チェーンソーに代わり、最も危険な伐倒作業を担う。														
ハーベスタ	従来チェーンソーで行っていた立木の伐倒、枝払い、玉切りの各作業と玉切りした材の集積作業を一貫して行う自走式機械。														
プロセッサ	林道や土場などで、全木集材されてきた材の枝払い、測尺、玉切りを連続して行う自走式機械。														
スキッダ	丸太の一端を吊り上げて土場まで地引集材する集材専用の自走式機械。主として伐開された林地内で使用される。														
フォワーダ	玉切りした短幹材をグラップルクレーンで荷台に積んで運ぶ集材専用の自走式機械。														
タワーヤダ	簡便に架線集材できる人工支柱を装備した移動可能な集材機。急傾斜地での作業に向いている。														
スイングヤダ	主索を用いない簡易索張方式に対応し、かつ、作業中に旋回可能なブームを装備する集材機。建設用ベースマシンに集材用ウィンチを搭載し、アームをタワーとして使用する。														

本文注釈付き用語	解説
<p>※8 丹（まごころ）の木 づかい推進プラン</p>	<p>平成24年度に定めた「丹波市の公共建築物等における木材利用の促進に関する方針」に基づき、丹波市産材及び兵庫県産材（特殊な規格の部材等、丹波市産材での調達が困難な場合は、兵庫県内産の木材の使用も本取組の対象に含めます）の利用促進を率先して取り組むための基本的な方針及び、目指すべき推進目標などを定め、公表・実践するものです。</p> <p>丹波市が建設・整備する低層の建築物においては、原則木造化による取組を進め、木造化がなじまない、もしくは困難な施設については、内装等の木質化に努めます。</p> <p>令和10年度を目標年度とし、平成31年度の本プラン策定以降に建築・整備する施設のうち、木造化対象公共建築物については50%以上の木造化、木質化対象公共建築物については100%の木質化を推進目標として定めています。</p>
<p>※9 溪畔林 [48ページ]</p>	<p>河畔林（かはんりん）といわれることもあり、山地の流路に沿った森林の総称を示します。溪畔林は、森林伐採や洪水で発生した土砂が河川に流れ込むことを防ぐ役割や、生態系保存などの重要な機能を担っています。</p>
<p>※10 林道・作業道 [50ページ]</p>	<p>林野庁では、平成22（2010）年度に、路網を構成する道を、一般車両の走行を想定した幹線となる「林道」、大型の林業用車両の走行を想定した「林業専用道」及びフォワーダなどの林業機械の走行を想定した「森林作業道」の3区分に整理して、これらを適切に組み合わせた路網の整備を進めることとしています。</p> <p>丈夫で簡易な路網の作設を推進するため、林業専用道と森林作業道の作設指針を策定し、林業専用道については、管理、規格・構造、調査設計、施工などに関する基本的事項を、森林作業道については、路線計画、施工、周辺環境などについて考慮すべき基本的な事項を目安として示しています。</p>

※11  
 交流人口・関係人口  
 [52ページ]

「交流人口」は観光客などの一時的な関係でほとんど地域との関係を持たない人口をいいます。「関係人口」は、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉です。地方圏は、人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面していますが、地域によっては若者を中心に、変化を生み出す人材が地域に入り始めており、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されています。



(交流・関係・定住人口イメージ)

※引用：総務省「関係人口ポータルサイト」

(<https://www.soumu.go.jp/kankeijinkou/about/index.html>) より

その他用語	解説
林業産出額	<p>林業産出額は、林業生産活動によって生み出される木材、栽培きのこ類、薪炭などの生産額の合計金額です。全国的には昭和55年の1兆1,588億円をピークに、2000年代にかけて4,000億円台まで減少しています。このうちおおよそ5割が木材生産で占めています。近年は国産材の生産量増加に伴い、木材生産額を中心に増加傾向となっています。</p>
「緑の雇用」事業	<p>特に若年層の新規林業就業者を確保・育成するために国が推奨している雇用制度です。平成8年に「林業労働力の確保の促進に関する法律」を制定した後、平成15年に「緑の雇用」と名前を変えて現在に至ります。</p> <p>林業未経験者であっても、必要な技術を学ぶことができ、林業経営体に採用された人に対し、段階的に講習や研修を行い、様々な技能を身に付けられるような体系的なプログラムで着実にキャリアアップしていけるシステムとなっています。</p> <div data-bbox="448 987 1453 1391" data-label="Diagram"> <p>The diagram illustrates the career progression stages for the 'Green Employment' system:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>採用前</b> (Before employment): 就業体験・ガイダンスを経て林業で働く場へ (After job experience and guidance, to the workplace in forestry).</li> <li><b>STEP 01</b> (林業へ就職): 林業へ就職 (Job in forestry).</li> <li><b>STEP 01'</b> (トライアル雇用): トライアル雇用 (3ヶ月の短期就業) (Trial employment (3-month short-term employment)).</li> <li><b>STEP 02</b> (林業作業士): 林業作業士 (フォレストワーカー) (Forestry worker (Forester)).</li> <li><b>STEP 03</b> (現場管理責任者): 現場管理責任者 (フォレストリーダー) (Site management officer (Forester leader)).</li> <li><b>STEP 04</b> (統括現場管理責任者): 統括現場管理責任者 (フォレストマネージャー) (Comprehensive site management officer (Forester manager)).</li> </ul> <p>Timeline markers: 採用前, 1~3年目, 5年以上, 10年以上.</p> </div> <p>(キャリアアップのイメージ)  ※引用「緑の雇用」RINGYOU.NET (<a href="https://www.ringyou.net/project/">https://www.ringyou.net/project/</a>) より</p>

その他用語	解説
森林浴・ 森林セラピー	森林浴は森林の中で、自然が彩なす風景や香り、音色や肌触りなど、森林生態系の生命や生命力に対して、五感を通じて感じることをいいます。樹木が発散するフィトンチッド（生物活性物質）には疲労回復効果があるといわれており、特に科学的な証拠に裏付けされた森林浴のことを「森林セラピー」といいます。
フォレスター	市町村森林整備計画の作成や適切な路網作設の方法、長期的視点に立った地域全体の森林づくりの方法などを指導する技術者。森林総合監理士ともいいます。
プランナー	森林所有者に代わって、水源涵養機能や木材生産機能など市町村森林整備計画におけるゾーニングに基づいた面的なまとまりを持つ計画である森林経営計画を作成します。それとともに、作業団地単位ごとに森林施業の内容や事業収支を示した施業提案書を作成し、森林所有者へ提示して施業を受託します。その後、現場技術者への作業内容の指示から実行管理までを行います。このように、プランナーは森林所有者に代わって地域の森林を管理する重要な存在です。
川上・川中・川下	林業・木材産業における、木材の生産から加工、利用までの流通過程を示しています。川上は造林・素材生産部門など、川中は製材・加工部門など、川下は住宅建築部門や消費者などが該当します。
ICT	「情報通信技術」（Information and Communication Technology）の略称です。林業分野では、森林情報のクラウド化による情報共有や、航空レーザ計測による樹種や材積等の林分状況把握などで活用が進められています。
ESD	「持続可能な開発のための教育」（Education for Sustainable Development）の略称です。森林内において様々な体験活動等を通じて、人々の生活や環境との関係についての理解と関心を深める「森林環境教育」は、ESDとしてのポテンシャルが高いとされています。

発行日／令和 6 年 8 月

発 行／丹波市 産業経済部 農林振興課

〒669-4192 兵庫県丹波市春日町黒井811

TEL (0795) 88-5029 FAX (0795) 74-1055

URL <https://www.city.tamba.lg.jp/>

丹(まごころ)の里



丹波市